3. 2018年度委員会活動

部	委員会名及び事業内容
総務	①総務委員会 総務会・正副会長会議・部長会 ・会全体の運営に関する総務事項（事務局運営、各委員会に属さない事項、自治体 からの各種委員推薦依頼への対応など）の協議、各事業部の報告検討事項の協議 ・部長会は理事会の補完的役割を担う目的で、毎月1回開催した。
	②地域ブロック委員会 ・北部ブロック：5/12、7/14、9/8、11/10、1/12、3/9の計6回開催。テーマを決めての検討と情報交換 ・せいぶSWネット：4/17情報交換会を実施 ・朝霞地区ブロック：休止
	③広報委員会 ・広報誌「埼玉県社会福祉士会だより」を年4回発行 ・組織的広報誌の発行を目指し、編集会議、校正会議を開催した。
	④選挙管理委員会 役員（理事、監事）改選に向けて選挙管理委員を選出し、改選手続きを行った。
	⑤組織委員会 会員拡大をめざした入会活動等を行った。（各種研修事業等で入会案内パンフレット配布）
	⑥倫理委員会 委員会開催1回　苦情申立1件を受け付け審査のうえ、日本社会福祉士会へ審議委託した。
	⑦災害時ソーシャルワーク委員会　被災者支援委員会から名称変更 ・日本社会福祉士会関東甲信越ブロック災害連携会議に出席　5月26日長野　11月24日山梨 ・埼玉県災害派遣福祉チーム員スキルアップ研修（2017年度登録者）参加　10月16日、11月19日 ・埼玉県災害派遣福祉チーム員2018年度登録研修参加　2月4日　3名登録 ・埼玉県災害ボランティア団体ネットワーク会議出席　6月14日 ・県内団体協働型災害訓練（杉戸）　2月1～2日　8名参加 ・本会災害対策マニュアル作成のための検討会議随時
研修	①公開研修委員会 ・公開研修 日　時：2019年3月10日（土）　13:30～15:00 場　所：埼玉共済会館 内　容：「地域共生社会への期待」 講演 講　師：福祉ジャーナリスト　町永　俊雄　氏 参加者：一般の方、市町村及び福祉機関の職員など51名
	②学会運営委員会 第21回埼玉県社会福祉士学会を開催した。参加者80名 日　時：2018年8月4日（土）13:30～16:00 場　所：下落合コミュニティーセンター(多目的ルーム、第2・3集会室) 発表者：8名 石井博史・坪内千明・長塩礼子・永田充・根岸幸徳・松山朋恵・本橋朝子・山村吾郎(50音順・敬称略) 抄録集：2019年1月発行
	③生涯研修委員会 ・基礎研修 社会福祉士資格を取得して間もない社会福祉士を対象に開催した。 (1)基礎研修Ⅰ 自己研修、及び集合研修等により実施した。修了者60名（再履修者を含む） 集合研修：2回（6/24、10/21） 自己研修：課題に対するレポート作成。

部	委員会名及び事業内容
研修	研修内容：社会福祉士としての自覚を促す、専門性を身につける、社会福祉士の役割、専門性を考える、倫理綱領・行動規範の理解、生涯研修制度について、社会福祉士会のあゆみ、組織 (2)基礎研修Ⅱ 自己研修、及び集合研修、集合演習等により実施した。修了者47名（再履修者を含む） 集合研修：6回（7/22、9/15、10/21、12/15、1/12、2/10） 集合演習：3回（8/25、11/25、3/9） 自己研修：課題に対するレポート作成。 研修内容：実践事例演習、実践研究発表、社会福祉における法の理解、スーパーバイジー体験、地域における福祉政策と福祉計画について、ソーシャルワークと権利擁護の視点 (3)基礎研修Ⅲ 自己研修、及び集合研修、集合演習等により実施した。修了者27名（再履修者を含む） 集合研修：8回（5/26、6/24、7/22、8/25、9/15、12/15、2/10、3/9） 集合演習：2回（11/25、1/12） 自己研修：課題に対するレポート作成 研修内容：模擬事例検討会、意思決定の支援、地域における福祉活動の実際、リスクマネジメント、苦情解決システム、組織マネジメント、福祉サービスの質の評価とサービスマネジメント、新人教育プログラム、ｽｰﾊﾟｰﾋﾞｼﾞｮﾝのモデルセッション (4)青年部研修（基礎研修Ⅰとの連動プログラム） ソーシャルワーク実践報告研修～社会福祉士の仕事と役割～ 日　時：2018年8月4日（土） 場　所：さいたま市下落合コミュニティーセンター 内　容：会員講師3名による講義（障害分野、生活困窮分野、児童分野）とグループワーク 参加者：基礎研修受講生など 69名 ・社会福祉士専門研修 基礎研修修了者及び認定社会福祉士取得者を対象に一層の実務専門性向上のための研修を実施した。 スーパービジョン課程：マンツーマン方式で 13名実施　（うち認定社会福祉士1名、各対象者ごとに通年6回）
	④地域包括支援センター委員会 認証研修「福祉関係者のための地域ネットワーク実践力養成研修」を申請し認証された。(2/4)
	⑤生活困窮者支援委員会 ・生活困窮者支援研修 日　時：2018年9月29日 場　所：埼玉会館7B会議室 内　容：「<自立支援>の社会保障を問う」講演、パネルディスカッション 講　師：名古屋市立大学　桜井啓太准教授、川崎市役所　一之瀬望氏、新座市役所　高間早葵氏、ふじみ野市役所　大川優生氏 参加者：市町村、地域包括支援センター、福祉相談機関・福祉施設職員など 61名 ・生活困窮者支援専門研修 日　時：2018年9月8日（土） 場　所：彩の国すこやかプラザセミナーホール北側 内　容：「最低生活費の基準と私たちの暮らし～健康で文化的な最低限度の生活を問う～」講義、グループ討議。 講　師：立正大学　金子充教授、ふじみ野市役所　楢府憲太氏 参加者：生活困窮状態にある方への相談支援従事者、生活保護制度や貧困問題に関心のある方 42名

部	委員会名及び事業内容
研修	⑥障害者自立支援委員会 ・障害者自立支援研修 日　時:2018年8月25日(日) 14:00～16:00 場　所:WithYouさいたま　視聴覚セミナー室 内　容:「障害者施設で起きた事故から障害者の人権を考える」 講　師:五百蔵(いおろい)洋一法律事務所　関哉(せきや)弁護士 参加者:福祉施設職員、行政職員、独立型事業所職員など 41名
	⑦多文化共生ソーシャルワーク委員会 ・多文化共生ソーシャルワーク研修 日　時:2019年1月26日(土)13:30～16:30 場　所:すこやかプラザ多目的ホール 内　容:「外国籍住民への支援の在り方を考える」　事例発表、グループ討議 ―やさしい日本語とコミュニケーション～職場、行政窓口、子どもの生活の場から― 参加者:福祉・教育機関職員、国際交流団体活動者など 33名
	⑧子ども家庭支援委員会 ・スクールソーシャルワーカー初任者研修講座 日　時:2018年5月20日　10:30～16:00 場　所:大宮ふれあい福祉センター 内　容:「スクールソーシャルワーク基礎研修」講義、スクールソーシャルワーカー経験談、 グループ演習。 講　師:日本社会事業大学災害ソーシャルワークセンター　土屋佳子 客員准教授 報告者:南石千紗子氏(蕨市)、 井上百合枝子氏(さいたま市)、 池田慎栽氏(さいたま市) 参加者:初任者、現任スクールソーシャルワーカー、学校・教育機関の職員など 45名 ・スクールソーシャルワーカー実践研修 日　時:2018年11月25日　10:30～16:00 場　所:川口市中央ふれあい館 内　容:「スクールソーシャルワーカーによる学校・家庭・地域のアセスメントと支援」講義、実践報告 講　師:日本社会事業大学災害ソーシャルワークセンター　土屋佳子客員准教授 報告者:雪田彩子氏(川口市)、 中村えり子氏(さいたま市)、高橋陽子氏(越谷市) 参加者:現任スクールソーシャルワーカーなど44名
	⑨施設実習指導者研修委員会 ・施設実習指導者研修 日　時:2018年7月14日(土)～15日(日)9:30～18:00 場　所:さいたま共済会館 内　容:実習指導者の要件を満たす講習会として厚生労働省に届け出て実施　講義、演習 対　象:相談援助経験を有し実習指導を担当する社会福祉士47名を指導者として養成した。 ・フォローアップ研修　(実習指導者研修のフォローアップ・プログラム) 日　時:2018年7月14日(土)13:30～18:00 場　所:埼玉会館 内　容:実習現場における課題について講義、演習　参加者 10名
調査研究	①独立型社会福祉士事務所委員会 ・研修会 日　時:2018年9月17日(月)10:00～15:30 場　所:さいたま市産業文化センター 内　容:司法福祉の実践と課題―埼玉県内での取り組みから― 「司法と福祉の連携に向けて―刑務所を出所した障がい者・高齢者の地域支援―」 講義 講師:埼玉県地域生活定着支援センター・ コーディネーター　原　恭子　氏

部	委 員 会 名 及 び 事 業 内 容
	「埼玉県内での実践」 シンポジウム

部	委員会名及び事業内容
調査研究	発表者:原田　真哉氏　(法に触れた被保佐人の支援を通して) 鈴木　四季氏　(刑務所でのソーシャルワーク実践から) 尾川　　勇氏　(更生保護施設でのソーシャルワーク実践から) 参加者:独立型社会福祉士事務所を開業する会員など 49名 ・会員のための相談コーナー開催 8月4日(土)学会開催時、2月1日～3日(金～日)総合相談会時 ・例会 日　時:5/18、7/20、9/21、11/16、1/25、3/22(毎回金曜日19時～21時) 内　容:それぞれ持ち寄った課題についての話し合い、助言、研修会や懇談会の準備 参加者: 5名程度
	②地域包括支援センター委員会 ・情報交換会の開催(8月、11月、3月) 対象者:埼玉県内の各地域包括支援センターに所属する職員等(会員・非会員は問わず) 地域別:8月26日の情報交換会を本庄市(11名参加)、11月16日の情報交換会を川口市(22名参加) 3月11日の情報交換会を川越市(9名参加)で開催
	③生活困窮者支援委員会 ・研究会(7回開催) 日　時:4/23、5/14、6/11、8/20、10/15、12/10、2/18
	④障害者自立支援委員会 ・研究会(6回開催) 日　時:5/6、7/1、9/2、11/4、1/6、3/3 内　容:国政策の動向についてや障害分野に携わる委員同志の意見交換、研修の打合せを行った。 参加者:各回平均約10名
	⑤多文化共生ソーシャルワーク委員会 ・研究会　①公開研究会:偶数月第3木曜日開催②社会福祉士研究会:奇数月第3木曜日開催 内　容:外国籍住民への支援のあり方を各方面から研究し、議論を深めた。 参加者:NPO、市町村、弁護士、行政書士など 6～12名 ・外部事業等協力(公益財団法人国際交流協会外国人総合相談センターへの会員派遣等) ・外国人相談支援(外部機関を通じ、寄せられる情報に対する相談支援)
	⑥子ども家庭支援委員会 ・定例会(6回開催) 日　時:4/8、6/10、8/19、10/28、12/16、2/10 ・勉強会 日　時:4/8、6/10、8/19、10/28、12/16、2/10 内　容:NPO法人パーソナルアシスタント・サービスのっくの活動、希望の家事業、子ども食堂、 スクールソーシャルワーカーの動向等についての学習
	⑦司法福祉委員会 ・定例研究活動(3回開催) 日　時:8/11　自己紹介及び今後の年間活動計画等 12/15　刑務所や釈放後、地域社会に戻るにあたっての支援等 3/30　女性当事者の支援・処遇の仕組みについて等 ・更生保護関係機関とのネットワーク会議への会員派遣(2回派遣) 日　時:12月4日・3月7日　13時半～15時半まで　(主催:埼玉社会復帰支援ネットワーク協議会)
事業	①生活相談事業委員会 ・ハローワーク浦和・就業支援サテライト生活・住宅相談事業 埼玉県からの受託事業 受託期間:2018年4月1日～2019年3月31日

部	委 員 会 名 及 び 事 業 内 容
	業務内容：ハローワーク浦和・就業支援サテライトで実施される求職者支援事業のうち、生活・住宅

部	委員会名及び事業内容
事業	総合相談コーナーにて相談援助事業を行う。 場　所:ハローワーク浦和・就業支援サテライト（武蔵浦和駅ラムザタワー3F） 担　当:生活相談員　5人（交代制）月曜日～金曜日/祝日除く 10時～17時 相談件数:197件 会　議:生活相談員ミーティング（毎月1回）　埼玉県との連絡会議（毎月1回） サテライト内　各コーナー代表連絡会議（毎月1回） 広報活動:生活・住宅総合相談コーナーの広報・周知のため、埼玉県内公共施設等へチラシを配布 サテライト近隣ネットカフェへチラシの配布協力を依頼し、2施設に設置
	②災害時ソーシャルワーク委員会 ・東日本大震災の加須市内被災者の支援　毎月巡回訪問、相談（24回実施） ・双葉町役場、双葉町社会福祉協議会との協議　6回実施 ・委員会開催（4/25　10/22　2/16）チーム会議随時 ・西日本豪雨災害支援（岡山県2名・広島県1名参加）
	③総合相談事業委員会 ・総合福祉相談会:福祉に関する「1日相談会」を開催 ①熊谷市　第29回熊谷ふれあい広場～障害者団体と市民の交流の広場～ への参加（10/27） 会のパンフレット配布、市内団体との交流を進めた。 ②さいたま市　第17回WithYouさいたまフェスティバルへの参加（2/1～2/3） 展示及び相談、ワークショップの参加にて会活動を広報した。相談件数6件 対　象:相談支援を進めている支援者及び県民 協力団体:一般社団法人埼玉県介護福祉士会
	④里親研修委員会 ・専門里親更新研修 埼玉県からの受託事業 第1回　講義 日　時:2018年10月9日（火） 場　所:With Youさいたま 内　容:「面接の基本、里親による里親の養育支援のために」 講　師 :元南児童相談所長 高倉富美子氏 参加者:専門里親 29名 第2回　施設見学 日　時:2018年11月9日（金） 場　所:さいたま市児童相談所　さいたま市子ども家庭総合センター「あいぱれっと」 内　容:施設内見学と現状説明 参加者:専門里親 20名 ・里親制度実務研修事業 埼玉県からの受託事業 (1) 里親委託推進員と里親支援専門相談員との情報交換会 日　時:2018年7月20日（金） 場　所:さいたま市産業文化センター 内　容:キーアセット（NPO法人要保護児童支援等活動団体）の紹介。県、児童相談所、児童福祉施設への質問と回答。グループ討議「協働しての里親支援を考える」 参加者:県、児童相談所、児童福祉施設などの担当職員　40名 (2) 里親制度実務研修及び情報交換会 日　時:2018年10月26日（金） 場　所:市民会館うらわ 内　容:①講義「ライフストーリーワークによる養育支援」講　師:徳永祥子氏（日本財団研究員）

部	委 員 会 名 及 び 事 業 内 容
	②情報交換会　グループ討議　事例検討「断続不登校を繰り返す里親委託中の男児」

部	委員会名及び事業内容
事業	参加者:市町村、児童相談所、児童福祉施設の職員や里親　51名 (3) 未委託里親研修会 日　時:2019年2月16日(土) 場　所:With You さいたま 内　容:講演「上手に子育てするコツ」 講　師:上原由紀氏(武蔵野大学心理臨床センター主任相談員 参加者:里親、実子、県、児童相談所、児童福祉施設職員等　61名 (4)未委託里親ふれあい交流事業 未委託里親と交流可能な児童福祉施設行事・ボランティアの調査
権利擁護センター	**①成年後見制度委員会ぱあとなあ埼玉** ・ぱあとなあ埼玉の事業(成年後見人活動支援に係る事業) ぱあとなあ埼玉会員数:415名(2019年3月31日現在) ぱあとなあ名簿登録者数:390名(2019年3月31日現在) 後見人の受任状況 :1348 件(2月定期報告より2019年1月31日現在) 内訳/後見　1009件、保佐　263件、補助　46件、後見監督人 2件、保佐監督人 1件、補助監督人 0件、任意後見監督人 1 件、任意後見契約 26件(内　任意後見＋委任代理契約 20件)任意後見人として活動中　2件 (1)相談支援 成年後見に関する相談事業を実施 定例相談会:毎週土曜日　10:00～13:00　　祝日、年末・年始を除く。(計48日) 毎回相談員2名が対応。相談件数 28 件。 (2)成年後見人材育成研修　認証研修　(名簿登録研修受講要件) 日　時:2018年9/9 、10/14、11/11、12/9　全日(日)9:30～17:30 場　所:埼玉県社会福祉士会会議室 内　容:専門職後見人としての社会福祉士が身につけるべき知識・技術を修得し、権利擁護 センターにおける成年後見人としての一定の力量を確保するための研修 参加者:10名(茨城県社会福祉士会会員2名を含む) (3)名簿登録研修 日　時:2019年3月17日(日)9:30～18:00 場　所:埼玉会館 内　容:成年後見人材育成研修修了者がぱあとなあ名簿に登録するため必要な成年後見実務研修 参加者:新規登録者4名 (4)実務研修/権利擁護実践研修 成年後見活動を行う支援者が、被後見人の意思決定に対し福祉的なアプローチを重視した支援活動を行うことができるよう、意思決定支援の重要性と実践方法を学ぶ。 ・意思決定支援に基づく権利擁護実践研修 日　時:2018年10月7日(日)9:30～17:00 場　所:埼玉会館 内　容:成年後見活動における2つのツール活用方法 参加者: 63名 ・実務研修: 成年後見人として実務上必要な知識を身につけ、職務遂行に役立て資質向上を図るための研修 第1回　実務研修 日　時:2018年8月11日(土)15:00～17:00 場　所:さいたま市産業文化センター 内　容:成年後見制度利用促進の背景や体制整備(中核センター等構想)について 講　師:成年後見制度利用促進専門職協議会担当委員 田原亮社会福祉士,齋藤雅樹社会福祉士

部	委 員 会 名 及 び 事 業 内 容
	参加者:57名

部	委員会名及び事業内容
権利擁護センター	第2回 実務研修　　注(3)名簿登録研修と兼ねて開催し、名簿登録済みのぱあとなあ会員も参加 日　時:2019年3月17日(日)9:30～18:00 場　所:埼玉会館 内　容:成年後見実務について 参加者:31名 (5)事例検討会 日　時:2018年12月8日(土)15:00～17:00 場　所:埼玉会館 内　容:終結したケースを今、振り返る ～自死事例の身上監護・死後事務・成年後見人等のメンタルヘルス～ 発表者:佐藤鉄也氏 参加者:48名 (6)運営委員会 ぱあとなあ埼玉の組織、事業に関する検討・管理を行う。 運営委員会：6回開催(4/14、6/9、8/11、10/13、12/8、2/9) 内　容:ぱあとなあの運営、受任者支援、成年後見人養成研修の企画検討など 場　所:彩の国すこやかプラザ/産業文化センター/産業文化センター/カルタスホール/埼玉会館/カルタスホール 出席者:運営委員20名、事務局 (7)　連絡会 ぱあとなあ会員の連絡及び情報交換を行う。（年6回:うち3回は地域ブロック別開催） ・全体連絡会:3回開催　(4/8、8/12、10/14、 13:30～15:00) 場　所:彩の国すこやかプラザ/さいたま市産業文化センター/埼玉会館 ・ブロック別連絡会:ぱあとなあ埼玉会員・成年後見制度に関心ある会員　毎回約30名参加 南部:3回開催　6/9 13:30～16:30、 10/13　13:30～16:30　 2/9 13:30～ 場所　産業文化センター/カルタスホール/カルタスホール 西部:3回開催　6/9 15:00～16:30、 10/13　15:00～　2/9　15:00～ 場所　ウエスタ川越/入間市イルミン/ウエスタ川越 東部:3回開催　6/17　14:00～16:30　10/18 19:00～20:30　2/21 19:00～ 場所　県立大学/越谷市中央市民会館/越谷市中央市民会館 北部:3回開催　6/10 13:00～15:30、　10/20　13:00～15:30 2/1613:00～17:00 場所　熊谷ハートピア /Lフォルテハナミズキ A/熊谷市立港南総合文化会館 (8)福祉関係者のための成年後見活用講座 ・第31回　支援者のための成年後見活用講座 日　時:2018年8月22日(水)10:00～17:00 場　所:カルタスホール 内　容:(公社)日本社会福祉士会編集のテキスト使用による講義と演習 参加者:市町村、福祉施設職員など52名(定員60名) ・第32回　支援者のための成年後見活用講座 日　時:2019年2月17日(日)10:00～17:00 場　所:埼玉会館 内　容:(公社)日本社会福祉士会編集のテキスト使用による講義と演習 参加者:市町村、福祉施設職員など　54名(定員60名) (9)法人後見 本会が法人として後見を受任するもの　3件受任(年度中に個人後見に移行1件、年度中に終了1件) (10)成年後見制度利用促進法に関する対応 ・さいたま家庭裁判所主催協議会及び埼玉県利用促進協議会に参加

部	委員会名及び事業内容
	・埼玉県三士会(弁護士・司法書士・社会福祉士)に参加　各3名　5回開催
権利擁護センター	・志木市後見ネットワークセンターにぱあとなあ会員を派遣（センター運営事業） (11)その他 ・成年後見報酬の助成　対象18件 ・報告書チェック（定期報告書チェック3月9日、3月23日、随時報告書チェック） ・業務査察委員会開催　6月20日　18:00～20:00　於:社会福祉士会2階会議室
	②高齢者・障害者虐待対応専門職チーム委員会 ・高齢者・障害者虐待対応　:本会・埼玉弁護士会連携チームが、契約市町村の虐待対応を支援した。 (1)埼玉弁護士会との協議会　5/10、6/28、9/20、12/5、2/6、3/26　計6回 (2)契約市町村(15市)の要請に応じて連携チームを派遣し、困難事案の助言、相談を行った。 上尾市:5/9、7/11、9/12、11/14、1/9、3/13　入間市:5/25、8/24、11/30、2/22 ふじみ野市:7/5、11/1、2/8　三郷市9/20、12/10　久喜市2/21　飯能市2/4、3/4 狭山市8/27、11/22、1/24、2/27　東松山市8/20　合計23回派遣 「桶川市、加須市、川越市、坂戸市、志木市、鶴ヶ島市、羽生市」は、派遣なし。 (3)埼玉弁護士会合同研修会：チーム委員のスキルアップを図る合同研修会を開催 日　時:7月18日　18:30～20:00 場　所:さいたま共済会館 内　容:養護者、要介護施設従事者による高齢者虐待対応に関する助言力向上のための研修 参加者:19名(他、弁護士及び県・市町村の行政職も参加) 事業広報:高齢者・障害者虐待対応専門職チームリーフレットを増刷 ・高齢者虐待対応現任者標準研修 虐待対応に関する専門知識、技術の習得と実践力向上のための研修を開催した。 日　時:6月27日、7月11日、9月12日　9:30～17:00 場　所:浦和コミュニティセンター、さいたま市産業文化センター 内　容:日本社会福祉士会仕様のプログラムによる講義、演習、事例検討など 参加者:市町村、地域包括支援センター、在宅介護支援センター等現任者　24名、再履修1名、 （修了者25名）
自立相談支援	**①自立支援専門員事業委員会** ・自立支援専門員事業 埼玉県からの受託事業 受託期間:2018年4月1日～2019年3月31日 派遣先:埼玉県福祉事務所(東部中央・西部・北部・秩父) 内　容:生活保護受給者の抱えている生活問題の解決、改善のために、本人を取り巻く ネットワークの調整などを行いながら、安定した地域生活が送れるように支援した。 支援員:10名 活動日数:延べ663日 支援世帯員総数:171名 支援内容総数:家庭訪問552件　関係機関協議467件など
	②住宅ソーシャルワーカー事業委員会 ・埼玉県・市住宅ソーシャルワーク事業 埼玉県、戸田市、蕨市、東松山市、秩父市、白岡市からの受託事業 受託期間:2018年4月1日～2019年3月31日 内　容:生活保護受給者等にアパートなど居宅を設定する支援を行い、地域生活への移行を行った。 支援員:常勤換算6名 実　績:新たに住宅設定、転居支援、地域生活支援をした人数77人、一時宿泊施設利用1件 福祉事務所訪問　409回、居宅設定後家庭訪問285回、関係機関訪問492件 ・さいたま市住宅ソーシャルワーク事業 さいたま市からの受託事業

部	委 員 会 名 及 び 事 業 内 容
	受託期間:2018年4月1日～2019年3月31日 内　容:条例届出施設及び無料低額宿泊所に入所している生活保護受給者など、住まいを喪失

部	委員会名及び事業内容
自立相談支援	する者に対し、アパートなど居宅を設定する支援を行い、地域生活への移行を行った。 支援員:常勤換算11名配置 実　績:新たに住宅設定、転居支援、地域生活支援をした人数316人、一時宿泊施設利用35件、福祉事務所訪問1,334回、居宅設定後家庭訪問1,237回、関係機関訪問　1,353回
	③自立相談支援委員会 ・生活困窮者自立相談支援事業 (1)入間市からの受託事業 受託期間:2018年4月1日～2019年3月31日 内　容:生活困窮者自立相談支援事業を入間市福祉事務所内で実施した。 相談員:常勤換算3名配置 実　績:新規相談受付件数352件(うち本人申込件数298件)、自立支援プラン策定件数155件、住宅確保、給付金決定件数32件、就労支援件数 106件 (2)加須市からの受託事業 受託期間:2018年4月1日～2019年3月31日 内　容:生活困窮者自立相談支援事業を加須市福祉事務所内で実施した。 相談員:常勤換算1名配置 実　績:新規受付件数131件、自立支援プラン策定件数14件、延支援件数1,745件 (3)埼玉県からの受託事業(県東部地区ほか) 受託期間:2018年4月1日～2019年3月31日 内　容:福祉事務所と連携して、生活困窮者の就労支援や住宅確保給付金など任意事業のメニューも活用しながら、自立支援に向けた総合支援を行った。 相談員:常勤換算3人 実　績:新規受付件数 244件、自立支援プラン策定件数78件、住宅確保給付金決定件数 4件、就労支援件数62件 (4) 無料職業紹介事業 内　容:生活困窮者等の就労支援の一環として職業紹介を行う事業 実　績:就労先企業開拓(2社登録)　求職相談(1件受付)　就職(1件) ・家計相談事業 (1)さいたま市からの受託事業 受託期間:2018年4月1日～2019年3月31日 内　容:自立相談支援の一環として、家計管理に課題を抱える者 に対し生活再建の支援を行った。 支援員:従事相談員1名(2日/月)及びその他の登録相談員が対応。 実　績:相談件数66件、家庭訪問件数51件、支援調整会議 31件、終了件数 58件 (2)飯能市からの受託事業 受託期間:2018年4月1日～2019年3月31日 内　容:自立相談支援の一環として、家計管理に課題を抱える者 に対し生活再建の支援を行った。 支援員:従事相談員1名(2日/月)及びその他の登録相談員が対応。 実　績:飯能市役所内において相談を実施　　相談件数 38人、地域相談会を開催
	④ホームレス自立支援委員会 ・ホームレス巡回相談事業 ホームレスの居所へ巡回し生活改善のための相談や情報提供の働きかけを行った。 支援員:支援員登録制の実施 ☆新規登録支援員研修　　日　時:2018年8月18日(土) 場　所:与野本町コミュニティーセンター 参加者:23名　うち新規登録者6名 登録支援員:36名 支援活動:訪問活動　32回実施　参加支援員65名　　訪問人数141人(詳細は下記のとおり)

部	委 員 会 名 及 び 事 業 内 容
	・国土交通省の合同巡視同行（居所を訪問） 延べ12回 支援員26名 訪問99ヶ所

部	委員会名及び事業内容
自立相談支援	・定期巡回（夏・冬の居所訪問） フォロー訪問(巡視後の個別支援） 延べ20回 支援員39名 42人を訪問 会 議:事業実施に向けた会議 年間6回 (5/19、7/21、9/15、11/17、1/19、3/16) 連携団体:フードバンク(配布食料の提供)、With Youさいたま(フェスティバルで委員会活動紹介)
	⑤子ども家庭支援委員会 ・希望の家事業 埼玉県からの受託事業 期 間:2018年4月1日～2019年3月31日 内 容:児童養護施設等を退所し、大学、専門学校等に進学する者に対し、進学から卒業までの単身生活の支援、および社会人に向けての支援を行った。 支援員:会員20名 実 績:支援対象者15名 第1希望の家(東部)第2希望の家(西部)、第3希望の家(西部)、第4希望の家(中央)を、個別面接・見守りを定期的に行うとともに、学校・施設を随時訪問した。 ・児童養護施設退所者等アフターケア事業(クローバーハウス) 埼玉県からの受託事業 期 間:2018年4月1日～2019年3月31日 内 容:児童養護施設等を退所または退所をひかえた者に対し、自立支援を行うためのアフターケア事業所を運営し、生活・就学・就労等に関する相談支援等を行った。 支援員:20名 実 績:来所者延べ215名 来所者への相談対応他、家庭訪問、施設訪問等を通し支援を行った。また月1回自立生活セミナーを開催し、交流の場を設けた。 ・社会的養護自立支援事業における支援コーディネーター業務 埼玉県からの受託事業 期 間:2019年1月4日～3月31日 内 容:18歳を超えた、里親や児童養護施設入所者で、支援を継続して行う必要があると判断された者について自立支援計画の作成や相談等の支援を行う。 支援員:3名 実 績:支援対象者4人について、継続支援計画を作成し支援した。
事務局	1. 総会、役員会、運営委員会等の開催 2. 役員及び各委員会との連絡調整 3. 日本社会福祉士会及び他県社会福祉士会との連絡調整 4. 各種行政施策等に対する会員の参加についての連絡調整 5. 福祉施設等の求人情報の発信 6. 会員名簿の整理、文書の発送作業 7. 会計経理事務 8. 会費の徴収事務 9. 他団体・機関との連絡調整 10. 各事業受付等、開催支援 11. ホームページの管理 12. 会員及び一般市民からの問い合せ対応 13. 公益認定変更、届出に関する事務 14. 事業契約、労働契約等に関する事務 15. その他会活動に関する庶務